

研究課題：小児腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の術後創部感染の後方視的検討

1. 研究の目的

当院では積極的に腹腔鏡による手術を行っており、全国でも有数の手術件数を行っております。

当院で主に鼠径ヘルニア修復術として行っている腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(SILPEC,LPEC)は全国的に普及しておりますが、残念ながら手術後に創部感染をしてしまうことがあり、術前に予防的抗菌薬の使用が必要かどうかは未だにはっきりとわかっていません。

今回私たちは、小児における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術での術後の感染がどの程度発症しているか、過去の症例を遡って検討し、今後の予防が必要かどうかを検討する研究を企画しました。

2. 研究の方法

当院で過去(2013年～2020年)に鼠径ヘルニア修復術を施行された方々で術後に創部感染があったか、予防的抗菌薬を使用されたかどうかを検討させていただきます。

また、ほぼ同様の手術創である臍ヘルニアの手術を受けた患者様についてもカルテを確認し、同様に創部感染や予防的抗菌薬の使用について検討させていただきます。

3. 研究期間

研究承認日～2022年3月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

上記に該当する患者様の手術画像・検査データ等を参照し、個人が特定されないように匿名化した状態でデータとして解析させていただきます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

研究成果が出ましたら、学術集会や論文雑誌等でご報告させていただきます。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）